



卒業おめでとう

かけや夢の子園、掛合小学校、掛合中学校、三刀屋高校掛合分校の卒業生のみなさん
ご卒園、ご卒業おめでとうございます♪
新しい道での益々のご活躍をお祈りしています！



3/1 三刀屋高校掛合分校 卒業式(卒業生 20名)



3/9 掛合中学校 卒業式 (卒業生 27名)



3/17 かけや夢の子園 終了式 (卒園生 14名)



3/18 掛合小学校 卒業式 (卒業生 15名)

同窓会事務局の方・ご家族の方ぜひ

掛合地区出身の方をご紹介ください！

掛合自治振興会では、掛合地区出身の方に掛合の近況や情報を知って頂くために、広報紙の送付事業をしています。

今年度は十数名の方から、広報購読を希望され、同時に掛合自治振興会へ四万二千円ものご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。

今後は、懐かしい故郷の情報、交流イベント情報、空き家管理・墓の管理事業や、掛合の企業紹介並びに求人情報の発信、ふるさと直送便も発送して行きたいと計画しています。

また、この事業を継続していくため、出身者の情報が必要です。ご賛同いただけましたらぜひ同窓会の名簿、家族縁者をご紹介ください。（住所・お名前等の個人情報、この広報発送事業以外には使用いたしませんので、ご安心ください）

ご寄付ありがとうございました

浅野 悦子様	高橋 太代様
朝山 忠博様	玉木 延子様
岩田 成弘様	徳島 誠様
景山 悟様	長岡 栄様
境目 琴美様	藤原あい子様

あいうえお順

「職場における外国人受け入れと

多文化共生の地域づくり」勉強会開催

2月10日、うんなん多文化共生まちづくり協議会が、掛合町内の企業4社に向けた「外国人雇用に関する勉強会」を掛合交流センターで開催されました。

町内企業にとって、今後の従業員の確保において外国人の受け入れが当たり前な時代がやって来ている状況をうけ、単に人口が減るから外国人を入れるのではなく「多文化共生をどう進めるのか」「地域の崩壊を阻止し、多文化共生でつくる地域の未来」について、気仙沼市の株式会社菅原工業の菅原渉社長がオンラインで事例発表をされました。また、ダイバーシティ研究所の田村太郎氏からは「これからの多文化共生」について講演をされました。

これからの多文化共生は「多様な担い手が連携する場の形成」「多文化共生を推進する人材づくり」「グローバル社会と地域をつなぐ取り組みの推進」の3つを進め、地域の崩壊を阻止し、多文化共生でつくる地域の未来は「地域の産業はすでに、外国人

なしでは存続できない」「外国人の定住を支える社会インフラの整備の急務」「多文化共生への市民からの理解を促す」の3点があげられました。

掛合自治振興会では、掛合地区5か年計画「まめなかねプラン」のなかで掲げている「多文化共生に関する取り組み」を報告させていただきました。掛合地区が、多文化共生を中心に据え、外国人と共に持続可能な地域づくりをして行くことが、地域の未来をつくり、課題解決につながる重要なポイントだとして指導いただきました。

今後も、ご指導頂いたポイントも含め地域課題の解決に向け、地域全体で取り組みたいと思います。



オンラインでの勉強会

地域の話

かきフェスティバル 2022 開催



毎年掛合町ふるさとまつり実行委員会の主催で開催されていた「かきまつり」の中止が発表され、残念がる地域の方のために、また音戸町との繋がりを絶やさないためにもと、地元の若者グループの地域づくり団体「Project U」の主催で、2月20日(日)道の駅掛合の里にて『かきフェスティバル 2022』が開催されました。

広島県呉市音戸町の牡蠣(殻付き、むき身)が準備された会場には、販売時間の9時前から行列ができ、掛合町内外より約500名が来場され、購入者からは『やっと食べられるわー』『開催してもらって嬉しいね』など歓迎の声が沢山あったようです。各ご家庭で焼き牡蠣や酒蒸し、カキフライなどでおいしく食べられた事と思います。

また、牡蠣の販売の他にも松笠そばや露店の出店もあり、フェスティバルの賑わいに一役かかっていました。コロナウィルス感染予防対策の中での開催でしたが、このような賑やかなイベントがあると地域が元気になります。今後も地域に活力が生まれ、ワクワクするイベントを開催されることを期待します。

check

毎月第2土曜日はスペシャルランチの日！

道の駅掛合の里レストラン 11:00~14:00
数量限定 ドリンク&デザート付

「皮膚科診療始めます！」



雲南市立病院 地域ケア科 太田龍一

今月のテーマは「**皮膚科診療**」についてです。

掛合診療所での皮膚科診療を開始します！

現在、定期受診患者さんで皮膚の病気をお持ちの方は、診療所で勤務している総合診療医が持病と一緒に治療させていただいています。

先日ご回答いただいた掛合診療所に対するアンケート調査の結果、皮膚科診療を希望されている方々が多数おられました。そこで、**2022年4月からは、雲南市立病院皮膚科と連携して、診療所での皮膚科診療を積極的にやっていきます。**

具体的には、痒み、痛み、肌荒れなどの皮膚症状のある方は、診療所に受診していただきます。診療所で皮膚科診療経験のある総合診療医が診察させていただき、治療を行わせていただきます。その中で、症状が治まらない場合に、雲南市立病院の皮膚科医師とオンラインで繋ぎ、その症状に対する治療に関して相談を行い、さらに治療変更をおこなっていきます。

皮膚診療希望の方は、曜日に限らず、気軽に診療所までお越しください。

できるだけ、掛合診療所で多様な症状や病気に対応できるように今後も雲南市立病院と連携を行いながら努力していきたいと思っております。

地域の皆様が、気楽に相談し利用できる診療所になれるように努力して参りますので、引き続きよろしくお願い致します！

天 ち ゃ ん の 防 災 教 室

地 球 温 暖 化 に つ い て ③



人ひとりを1km運ぶのに排出する二酸化炭素（以下CO₂）は、自家用車が114g、飛行機が98g、鉄道が17gとなり、自家用車が最大の排出者となっています。ちなみに飛行機は大量の燃料も使いCO₂を大量に吐き出しますが、輸送の距離が違います。また飛行機は大量の輸送量があります。やはり私たち個人の自家用車での移動が、一人一人の輸送に鑑みると大変なCO₂を排出している事になります。

温暖化の根源(化石燃料の石炭・石油からのエネルギー供給)の改善は、現代の産業革命だと思えます。災害の多い日本は、この問題に関して国家的事業としてエネルギー源に関わる事業を積極的に支援して行く事が望まれ、それがひいては災害を少なくする事に大きな躍進があるように思えます。

まず私たちができることは組織毎のノーマイカーデー計画です。国・県・市等は勿論、大きな組織は積極的に通勤の乗合バスの励行や、企業や地域へ年に数回の指導的な取り組み等を行ってもらい、何らかの税制優遇処置等を組み込めれば、少しでも協力が得られ、日本中では勿論、発展途上国等にその必要性が理解されれば、世界中で途轍もない量の温暖化ガス排出の削減ができると思います。それこそが未来の见えない温暖化防止策の明かりとなるでしょう。

日	曜	市・振興会関係	教室・サークル	日	曜	市・振興会関係	教室・サークル
1	金		・手芸クラブ ・そろばん	17	日		
2	土			18	月		
3	日			19	火		・ケアピラティス ・やっちゃんサロン ・そろばん
4	月			20	水	・行政相談 ・室内運動教室	・いきいきサロンコスモス ・さざんかの会
5	火		・ケアピラティス ・ひまわり教室 ・そろばん	21	木		・コールヨリージョ
6	水		・いきいきサロンコスモス ・さざんかの会	22	金	・掛合自治振興会総会	・そろばん
7	木		・コールヨリージョ	23	土		
8	金		・切り絵同好会 ・そろばん	24	日		
9	土			25	月		
10	日			26	火		・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん
11	月	・掛合小、掛合中 掛合分校 入学式		27	水	・いきいきサロン	・なのはな会
12	火		・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん	28	木		・さわやかクラブ ・コールヨリージョ
13	水	・いきいきサロン	・なのはな会	29	金	・昭和の日	・そろばん
14	木		・コールヨリージョ	30	土		
15	金	・専門部合同会議	・手芸クラブ ・そろばん				
16	土		・トールペイント	※ は休館日です。 予定は変更されることがあります。			

退職のご挨拶

平成25年から9年間、主事としてお仕事をさせていただきましたが、3月31日をもって退職することとなりました。

生まれ育ったここ掛合で、地域の為に掛合自治振興会として何ができるかを考えるべきかを考える中で、私自身もより掛合のことや掛合の人を知ることができた、とても充実した9年間でした。

至らぬ点多々あったかと思いますが、温かい掛合の皆さんに支えていただき、本当に良くしていただきながら勤めることができました。ありがとうございました。今後一住民として掛合地区に貢献できることを私なりにしていこうと思っています。

4月からは町外で勤務しますので、これまで交流センターでお会いしていた方々になかなかお会いできなくなることが寂しく思います。みなさんくれぐれもお身体に気をつけて、元氣にお過ごしください。またどこかでお会いできましたら声をかけていただけると喜びます。最後に、これからも掛合自治振興会の活動にご理解とご協力を賜ります様よろしく願います。ありがとうございます。

令和4年3月吉日 和泉 尚美